

事業所名	ばるばる一む		公表日	令和8年 3月 18日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・13人来たときは狭く感じる事もあるが部屋を分けたり工夫しながら支援を行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・バリアフリー化が難しい場所が数か所ある。段差の注意喚起の目印や声掛けでサポートしている ・バリアフリーではないがカーペットの色なので注意できるよう工夫している ・今現在通っている児童には問題ない(バリアフリー)。相談室の扉の開け閉めに対して怪我の無いよう注意を払う必要がある	建物の構造上、全てをバリアフリーにすることは難しい状況であるが、常に危険防止の観点からの工夫や改善策を見出して行きたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・細かい所まで普段からそうじしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別やグループ学習や状況によりクールダウンができる部屋やスペースがある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者への評価アンケートや面談時の意向については必ず全職員にフィードバックし改善につなげている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・個別支援会議または毎日の打ち合わせの中で職員の意見を聞きながら全員で話し合っている。 ・毎日の会議で児童の情報共有や対策等、話す時間があり、安心して子どもを迎えられる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		義務では無いので、これまで実施していないが、サービスの質向上のために、機会は設けたいと考えている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・毎月、スキルアップや安全管理等の目的で研修を行っている ・スキルアップ研修がある	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・送迎時や面談時に保護者の意向を確認。児童には定期的にアンケートを取っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・計画の評価、次の目標について指導員に確認した上で計画を作成している。また支援会議で全員で共通理解している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・フォーマルな評価は全体で検討してもいいかもしれない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・全ての領域や支援連携を網羅する形をとり個別支援計画を立てている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・各自でプログラム案を立て、全員で目的や修正点など話し合い決定している	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・毎日、支援前に打合せを行い、支援内容や注意点など確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		・終了時ではないが、その日の支援について振り返り、共有している 残業の無い勤務体制を実施しており、毎日は難しい状況ではあるが、翌日になったとしても振り返る事は継続して行く
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・支援後、当日の様子や支援内容、保護者からの話など記録をつけ、次の打合せや支援に活かしている ・振り返ることをもっと意識していきたい
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			・様々な活動の中で自己選択できる機会を設けている。選ぶ楽しさを工夫している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			・何名か参加した
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・教育センターや福祉施設と連携している。もう少し広げて行きたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		現状、保護者のアセスメントのみである。必要に応じて情報共有をして行きたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・卒業生が移行する事業所へ支援内容等、情報提供している。今後も続けて行きたい ・以前、実施した
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		・あったら参加したい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			・地域のこども食堂に参加し、他の子供や大人と交流する機会がある。 ・こども食堂に参加している。関わる機会としては少ないので交流について考えたい ・地域の行事に参加する機会はあるが、他のデイとの交流できる機会があればもう少し増やしてもいいと思う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・連絡帳や送迎時に様子を伝え合い、共通認識につとめている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・作業療法士より療育プログラムや親子あそび等のたよりを発行している。移行時期にも情報提供や相談支援を行っている。全体の研修は行っていない。 個々やその都度といったケースがあるが、企画としての活動は出来ていない。令和8年度中には開催したいと考えている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・体験利用時、契約時および変更時に丁寧な説明を心がけている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・なかなかできないが機会を設けたい ・モニタリング等は定期的に行っている。実際にデイで過ごしている子どもの様子や保護者会のようなものは少ない為、交流できる場を設けると更に保護者の安心感につながると考える	実施できていないのが現状。保護者アンケートから必要ないとの意見もあるが、令和8年度中には開催したいと考えている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・ブログによる活動の様子の発信やOTによる定期的な便りを発信している	保護者アンケートから足りていない事が浮き彫りとなった。改善したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・半年に一度以上、児童、スタッフと避難訓練を行っている。その前後で安全計画や改善点を確認している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・アセスメント時と面談時等、確認してスタッフにも周知している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・保護者に確認している。特に調理や外食時には再度の確認をして対応している ・医師の指示書はない、保護者に確認している ・保護者への確認を徹底している	保護者からのみで医師の指示書に基づく対応はしていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎月、スタッフへチェックリストを記入してもらい管理者と話す機会を設けている。研修も定期的に行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・やむを得ず行う際、保護者に同意を得ている。スタッフで改善策がないか等、定期的に話し合っている		